

令和5年度 第3回 ネット・モニターアンケート

街路樹について

■アンケートの趣旨

街路樹は、沿道の景観を向上させるとともに、花々・新緑・紅葉など街並みに彩りと季節感を与える、市民にとって最も身近な緑です。名古屋市では、これまで都市の厳しい環境に耐性があり、成長の早い樹木を多く植栽してきましたが、植栽後40年以上を経過するものが増え、その一部は老木や大木となり、維持管理の面で様々な課題を抱えています。

このアンケートは、街路樹について日頃感じていることなどをおたずねし、今後の街路樹行政の参考とさせていただくものです。

■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：必須 ・選択制限なし	Q3：必須 ・選択数1つ	Q4：必須 ・選択制限なし
Q5：必須 ・選択数1つ	Q6：必須 ・選択数1つ	Q7：必須 ・選択数1つ	Q8：必須 ・選択数1つ
Q9：必須 ・選択数1つ	Q10：必須 ・選択数1つ	Q11：必須 ・選択数1つ	Q12：必須 ・選択数1つ
Q13：必須 ・選択数1つ	Q14：任意 ・自由記載	Q15：任意 ・自由記載	

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

■アンケート実施期間

令和5年7月28日（金） から 令和5年8月7日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数： 500 人 回答数： 459 人 有効回収率： 91.8%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること
緑政土木局 緑地維持課

電話：052-972-2494 F A X：052-972-4143
E-Mail：a2481@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること
スポーツ市民局 広聴課

電話：052-972-3139 F A X：052-972-3164
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

回答集計

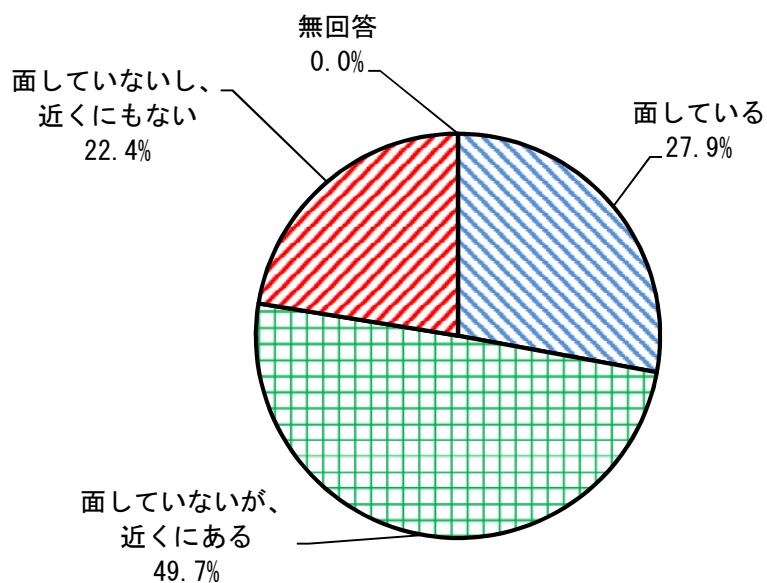
※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

街路樹には高さが3メートル以上になる高木と、高さが1メートル未満の低木があります。

【参考資料】添付 1：街路樹の構成

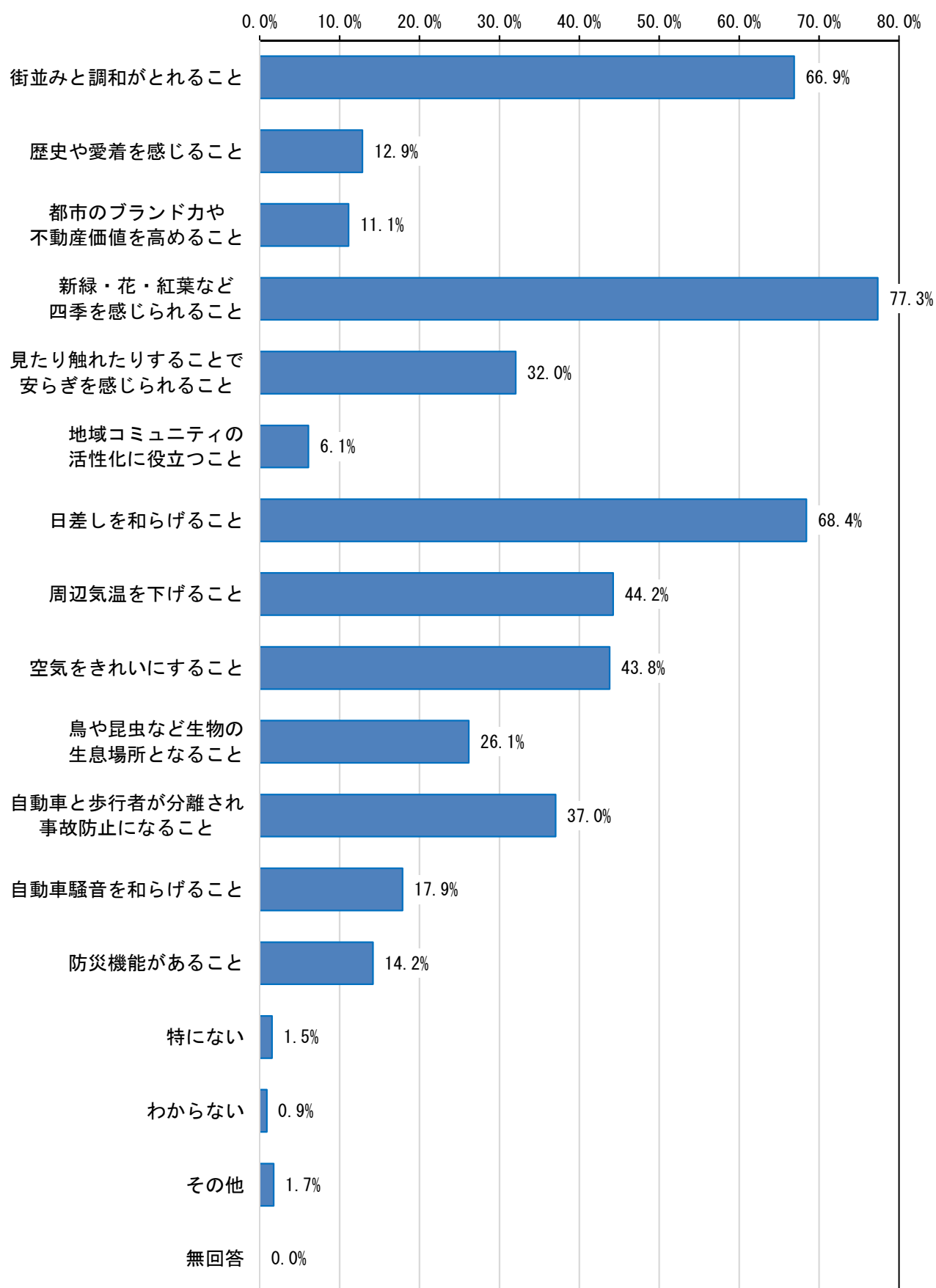
Q 1 【※必須】あなたのお住まいは、街路樹（高木）のある道路に面していますか。
（選択は1つ）

N = 459



Q 2 【※必須】あなたが、街路樹に期待することは何ですか。（選択はいくつでも）

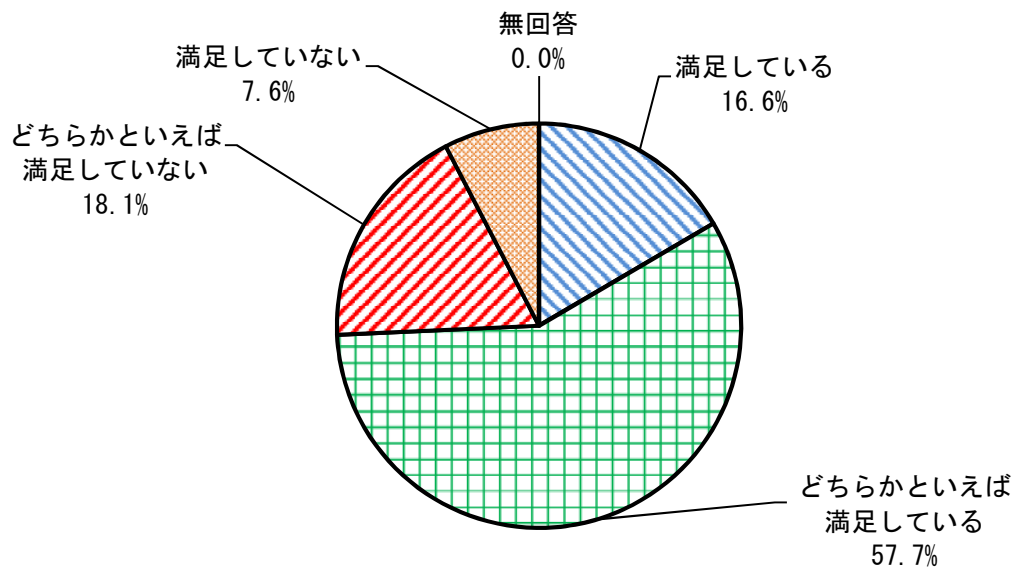
N = 459



本市では日頃、低木の刈込、高木のせん定及び除草などの維持管理を行っています。

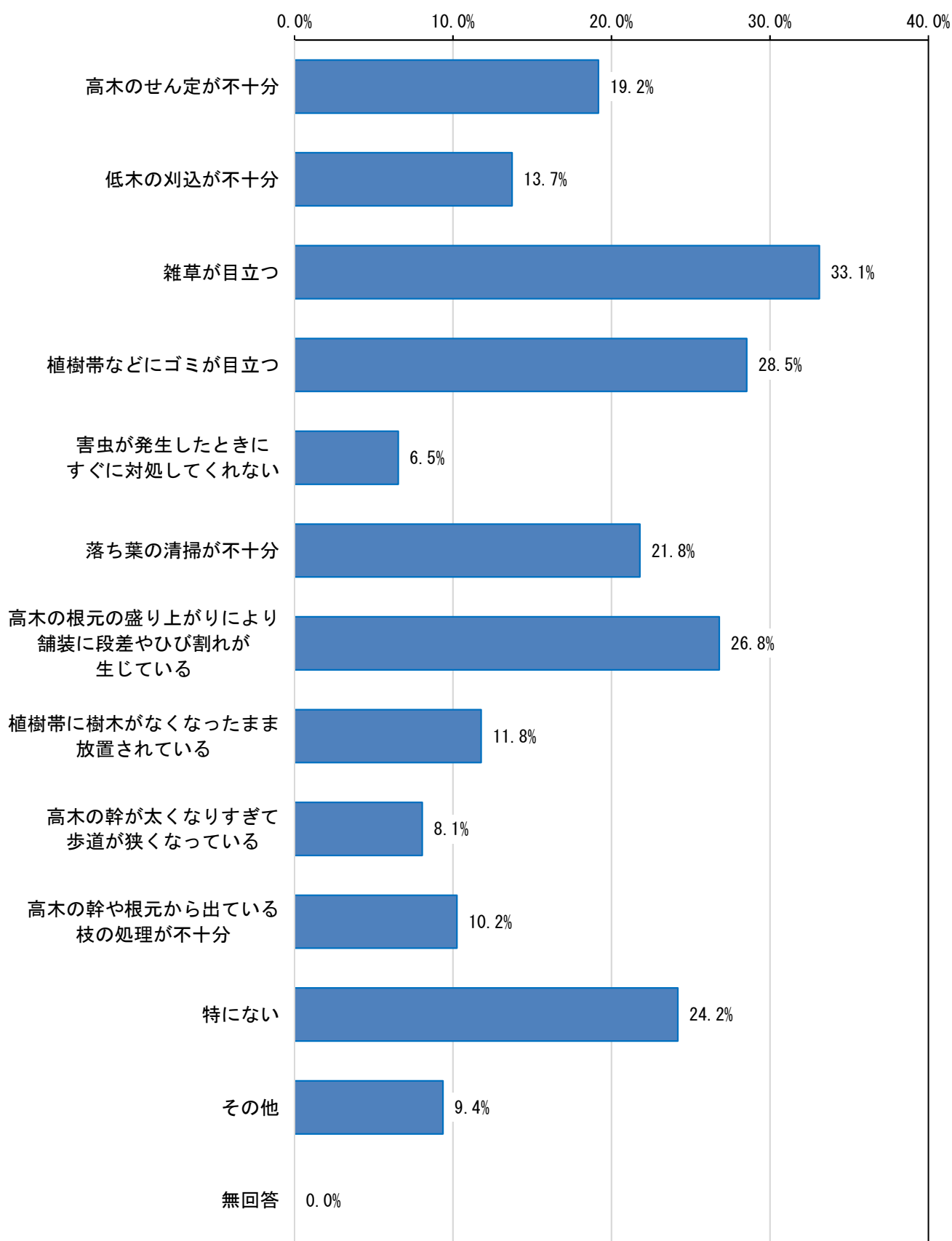
Q 3 【※必須】あなたは、本市の街路樹の維持管理について、満足していますか。(選択は1つだけ)

N=459



Q 4 【※必須】あなたが、本市の街路樹の維持管理について、不満に思うことは何ですか。（選択はいくつでも）

N = 459

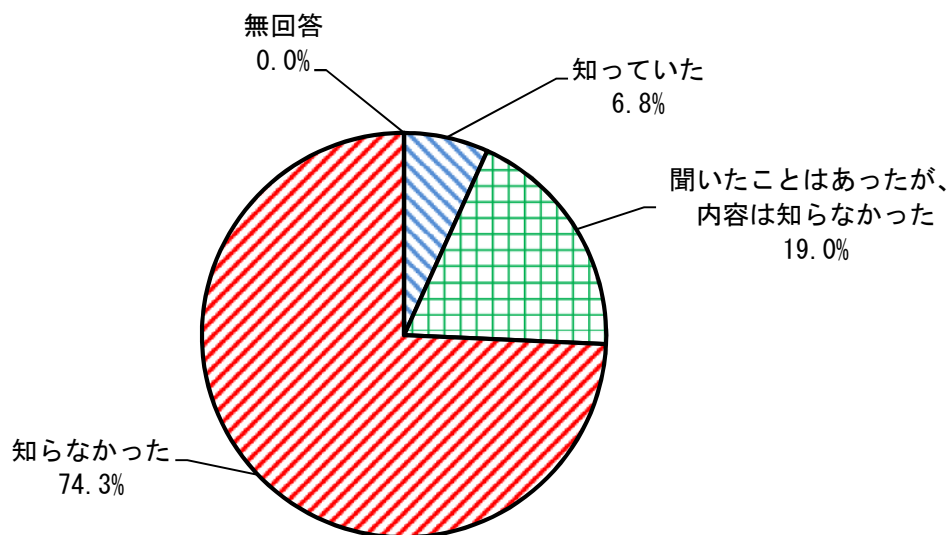


本市では、「道路空間と調和した街路樹づくり」と「地域に愛される街路樹づくり」のため、計画的に街路樹の更新・撤去・せん定を実施することで、次世代へつなぐ持続可能な街路樹づくりを目指し「街路樹再生なごやプラン」の取り組みを進めています。

【参考資料】添付 2：街路樹再生なごやプラン（概要編）

Q5【※必須】あなたは、本市の行っている「街路樹再生なごやプラン」の取り組みを知っていましたか。（選択は1つ）

N=459



近年、老木化・大木化した高木の倒木や落枝等の事故が多く発生していることから、「街路樹再生」の取り組みの一つとして、一部の高木について更新や撤去を行っています。高木の更新や撤去は、緑の量が減少する一方、安全な通行空間確保に役立っています。

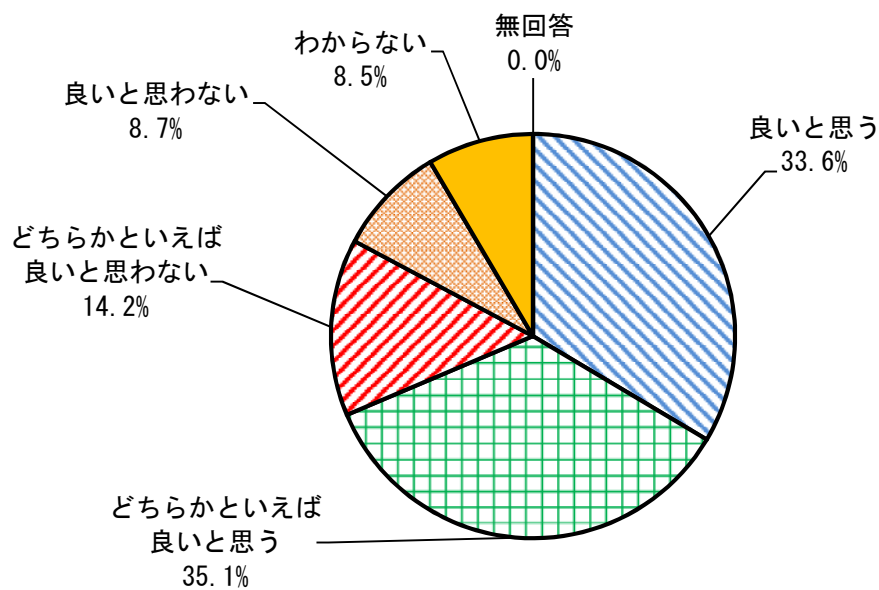
【更新について】

植え替え等のことを更新と言い、本市では、現在、事故リスクが高い樹木などを一本ずつ植え替える方法で作業を進めています。

【参考資料】添付 3：街路樹更新・撤去イメージ写真

Q 6 【※必須】あなたは、街路樹（高木）を並木単位で一斉に更新することを良いと思いますか。（選択は1つ）

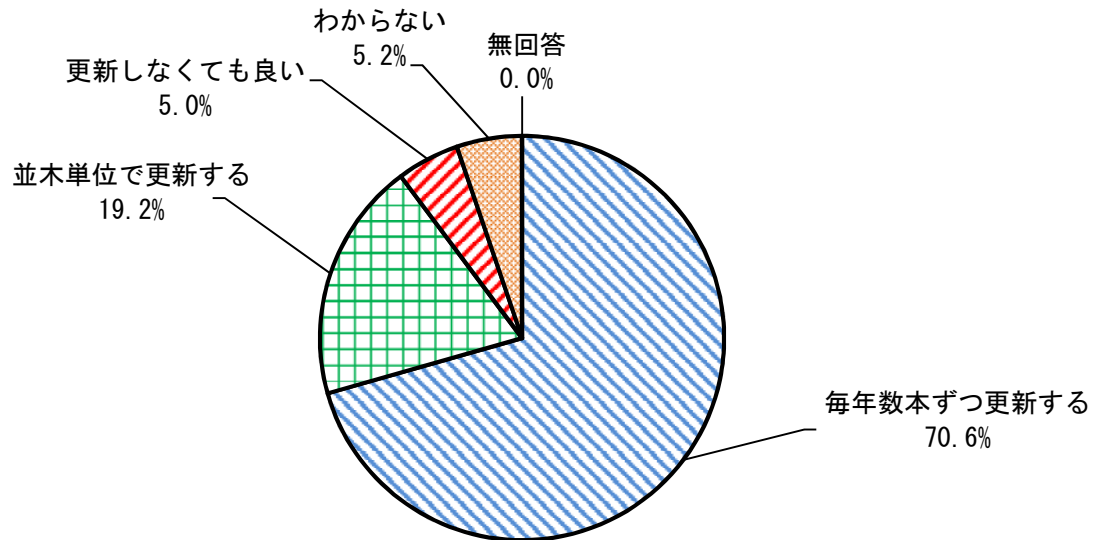
N = 459



本市では、地域に親しまれているサクラ並木等においては、まちの景観を変えることなく毎年数本ずつ老木化した木を若木へと更新しています。

Q 7 【※必須】あなたは、サクラ並木等の老木をどの程度若木に更新すると良いと思いますか。（選択は1つ）

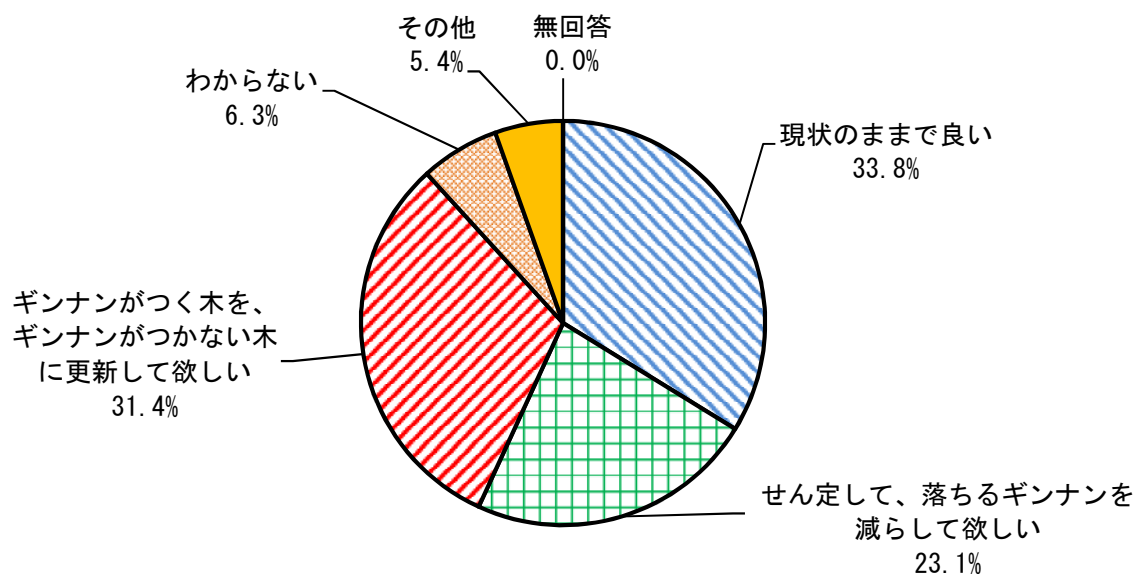
N=459



イチョウは、樹形が美しく火災の延焼防止に効果があることなどから、市内で多く植栽されています。一方で、ギンナンが路上に落下することにより、安全な通行を妨げたり、悪臭が発生するなどしています。イチョウにはギンナンがつくものとつかないものがありますが、植栽時の若木の状態では判別することは困難です。

Q 8 【※必須】あなたは、ギンナンがつくイチョウをどのように管理すると良いと思いますか。（選択は1つ）

N=459

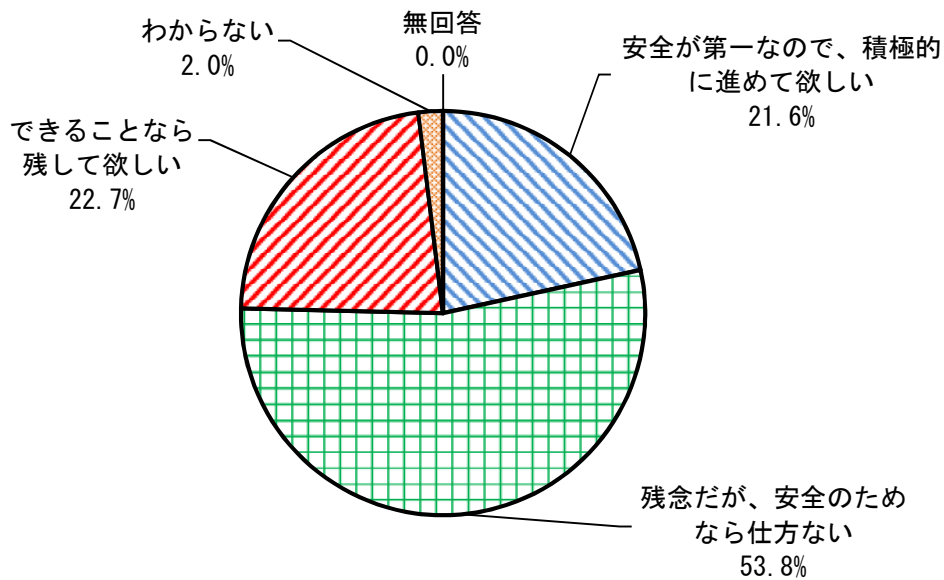


【撤去について】

本市では、歩道の通行に必要な道幅が確保できないなど現行の法令等に適合していない街路樹（高木）を撤去していますが、「全部撤去して寂しい」、「日陰が無くなる」等のご意見もいただいています。

Q9【※必須】あなたは、歩道の通行に必要な道幅が確保できない街路樹（高木）の撤去に関して、どのように感じますか。（選択は1つ）

N=459

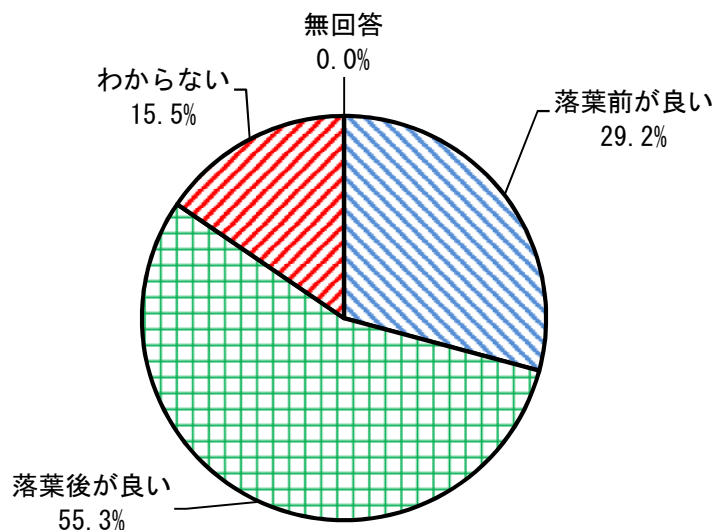


【せん定について】

本市では、街路樹（高木）の種類ごとの特性に合わせて、必要に応じてせん定を行っています。ただし、秋に紅葉を経て落葉する樹木については、市民の皆さまからせん定をする時期について、通気性や日当たり・落ち葉清掃の観点から早くすべきという声と、日差しの緩和や紅葉を楽しみたいという観点から遅くすべきという声をいただいています。

Q10【※必須】あなたは、紅葉する街路樹（高木）について、せん定する時期をいつにするのが良いと思いますか。（選択は1つ）

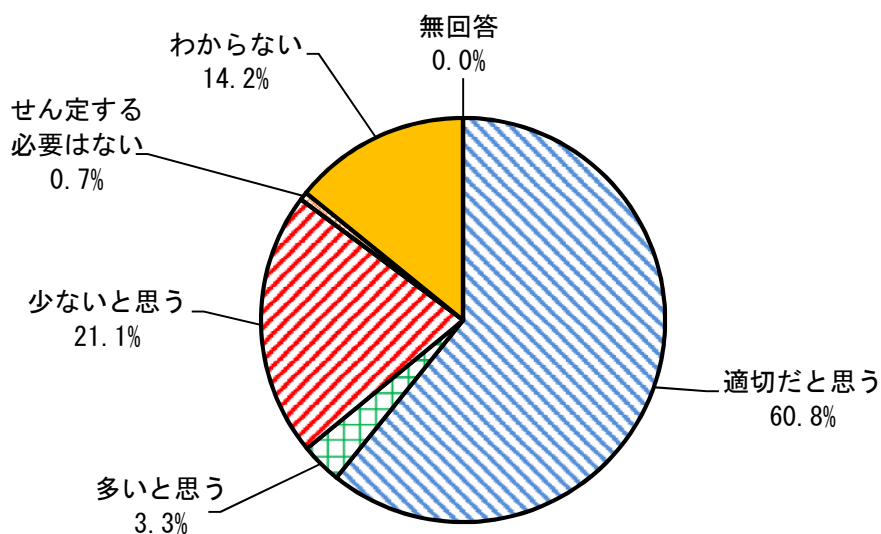
N=459



本市では、街路樹のせん定を、木の種類に応じて標準的な頻度（1～3年に1回）を定めて実施しています。

Q11【※必須】あなたは、現在のせん定頻度が適切だと思いますか。（選択は1つ）

N=459

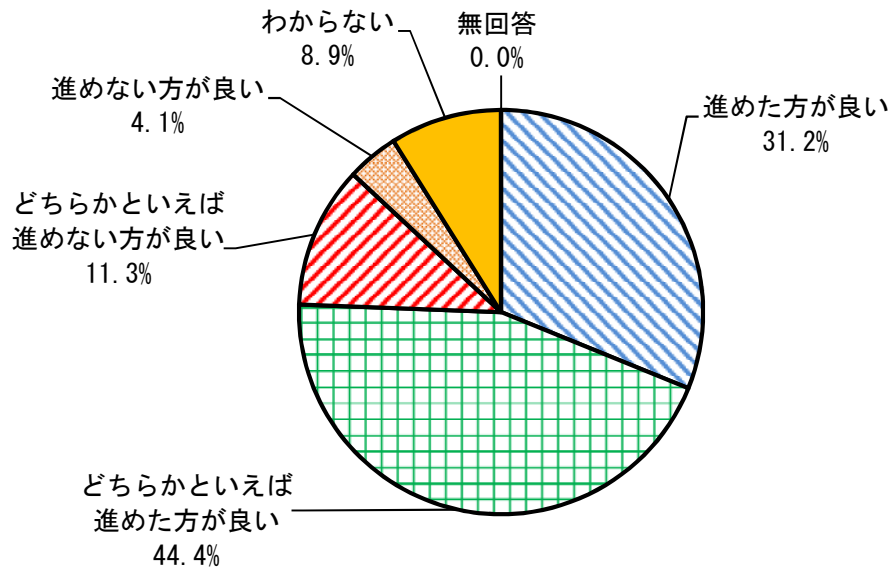


本市では市内の一部で、道路空間に対して大きくなりすぎた樹木について、樹木の高さを下げるせん定を行うことで、枯れ枝の落下の危険性を低減させるとともに、街並みと調和のとれた樹形への再生を実施しています。一方で、大きく育った樹木が小さくなることで、景観が変わってしまうという見方もあります。

【参考資料】添付 4：樹高抑制のイメージ

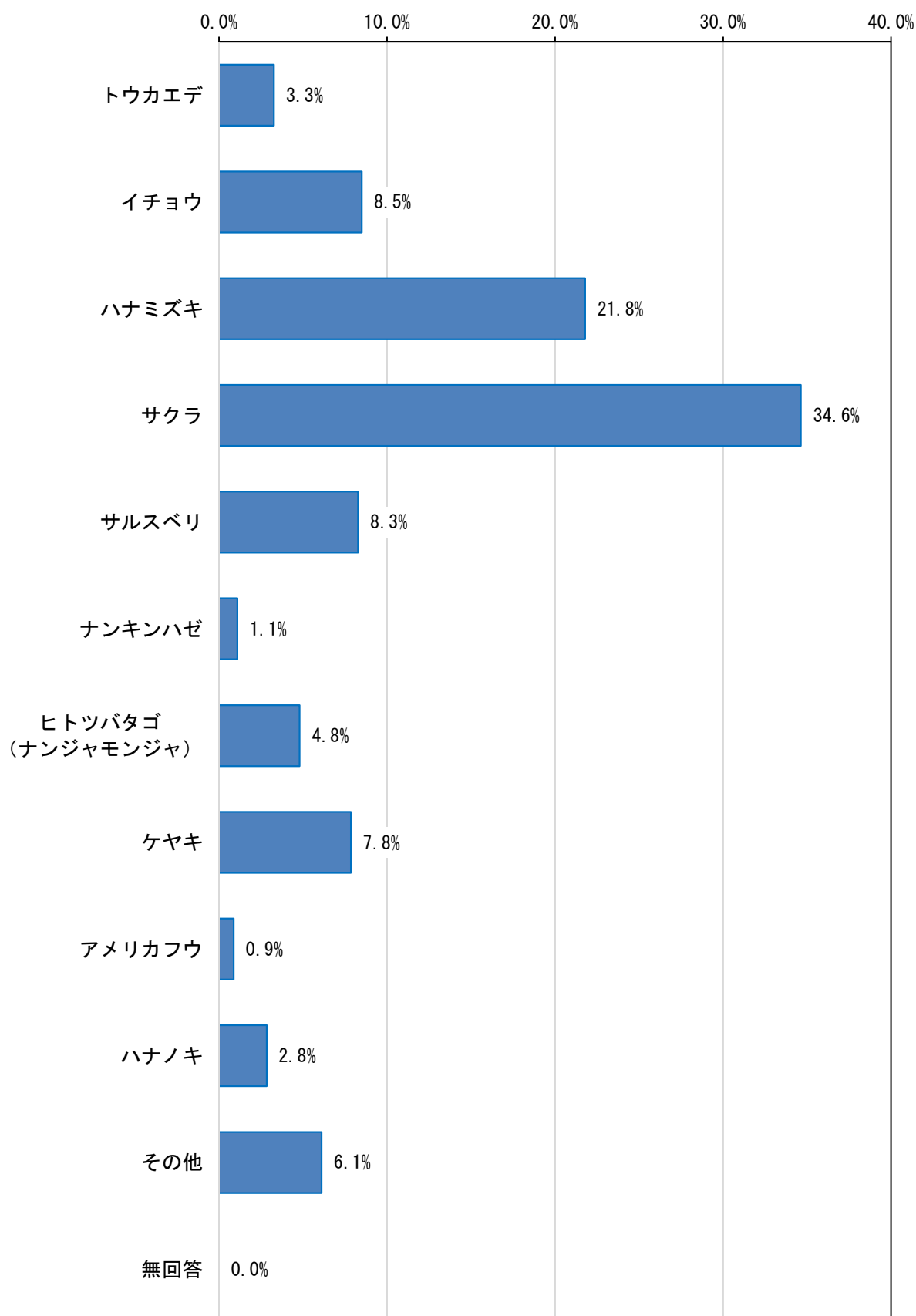
Q12【※必須】あなたは、樹木の高さを下げるせん定を進めた方が良いと思いますか。（選択は1つ）

N=459



Q13 【※必須】あなたが好きな街路樹の種類や、新しく植えて欲しい街路樹の種類は何ですか。(選択は1つ)

N=459



本市では、「街路樹再生」の取り組みの一つとして、街の魅力向上を目指した「シンボル並木」の形成を行っています。広小路通のケヤキ、大津通のケヤキ、久屋大通のケヤキ・クスノキ、桜通のイチョウ、錦通のナンキンハゼ、若宮大通のトウカエデを本市の顔となるシンボル並木として位置付け、街の魅力向上に繋がるよう努めています。今後はこの6つの並木以外にも、街のシンボルとなりうる並木を検討していく予定です。

【参考資料】添付 5：名古屋市の顔となるシンボル並木

Q14 本市の定める6つの「シンボル並木」以外に、街のシンボルとしてふさわしいと思う名古屋の並木があれば教えてください。

記入例：通りの名前や付近の地名と並木を構成する樹木の名前など

N=229

(〇〇通りのイチョウ、〇〇町付近のサクラ)

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ・ 南陽の芙蓉、茶屋のハナミズキ | ・ 山崎川の桜並木 |
| ・ 藤が丘の桜並木 | ・ 中村公園参道の松並木 |
| ・ 志賀本通のイチョウ | ・ 名電高近くのコブシ |
| ・ 名東区役所前のケヤキ | ・ 小田赤池線のナンキンハゼ |
| ・ 東海通のハナミズキ | ・ 緑区天白川沿いのサクラ |
| ・ 星ヶ丘テラス沿いのハナノキの並木 | ・ 塩付通のハナミヅキ |
| ・ 千種区の水道みち緑道のサクラ | ・ 守山区城下付近のサルスベリ |
| ・ 末盛から川原通りに至るトウカエデの並木 | ・ 平和公園付近のメタセコイア |
| ・ 瀬戸街道 小幡から八剣 なんじゃもんじゃ | ・ 東区のオオカンザクラ |

ほか

Q15 街路樹に関してご意見等がありましたらご記入ください。

N=208

- ・ 雑草の手入れ等が気になる所もありますが、範囲も広く終わりが無い作業であること、税金がかかることも考えると、むずかしいなと思います。
- ・ きれいに並んだ街路樹を見るのが好きです。心が気持ちよくなります。和ましてくれる街路樹を大切にしたいと思います。
- ・ 落葉するものは管理が大変かと思いますが、とてもキレイに色づくものが多いですし、落葉により、冬は日当たりが良くなって、良いと思います。
- ・ 他の都市に比べ名古屋は街路樹が少ないと思います。十年後、二十年後、半世紀後、さらには一世紀後に、名古屋といえば〇〇並木と言われるような緑豊かな街づくりを目指して欲しいと願っています。
- ・ この暑い時期、木陰があるとホッとするので、せん定は大変な作業だと思いますができるだけ歩行者を守って欲しい

ほか

■属性集計

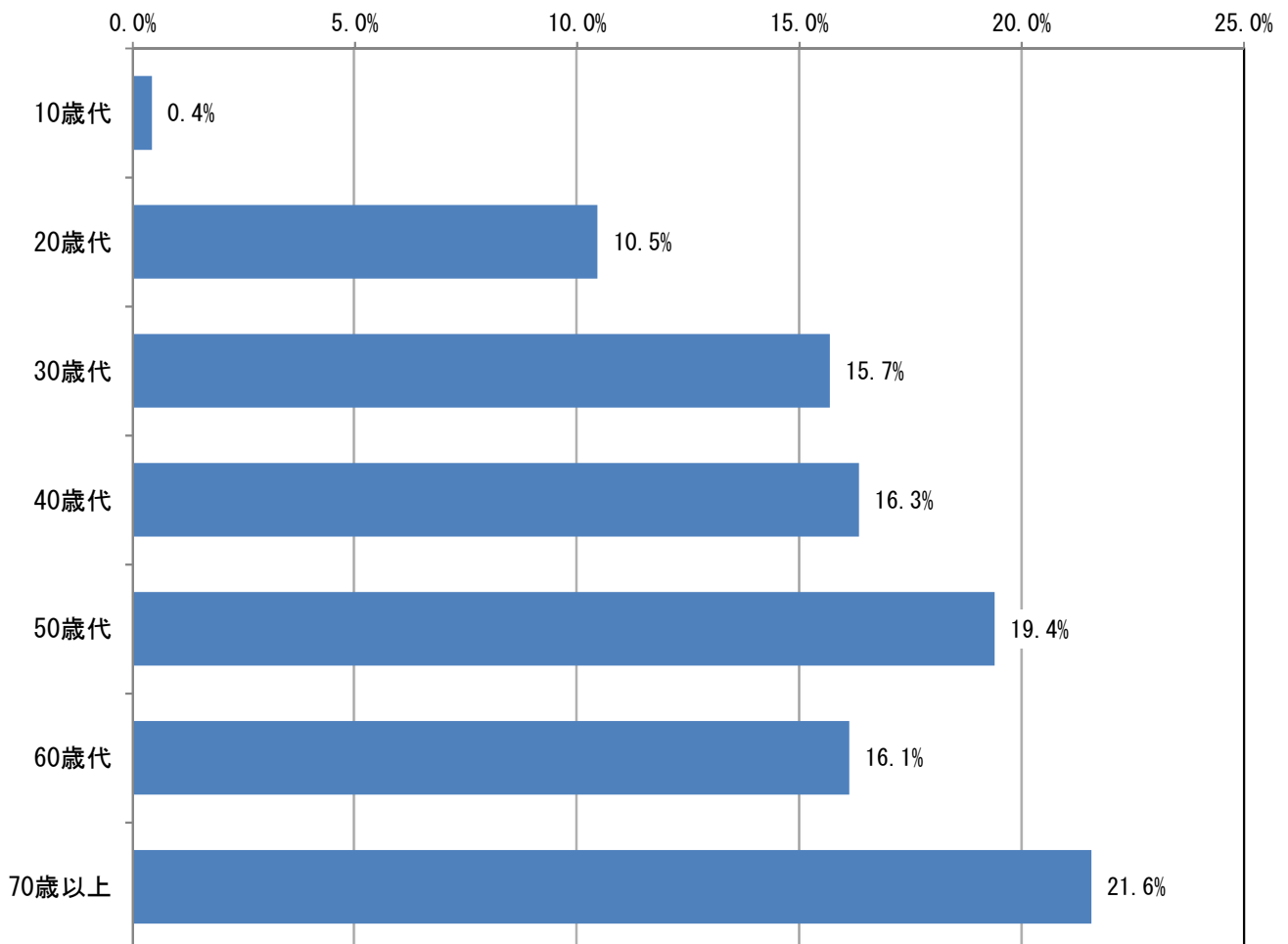
性 別

	全体	男性	女性
%	100.0%	51.0%	49.0%
回答者数	459	234	224



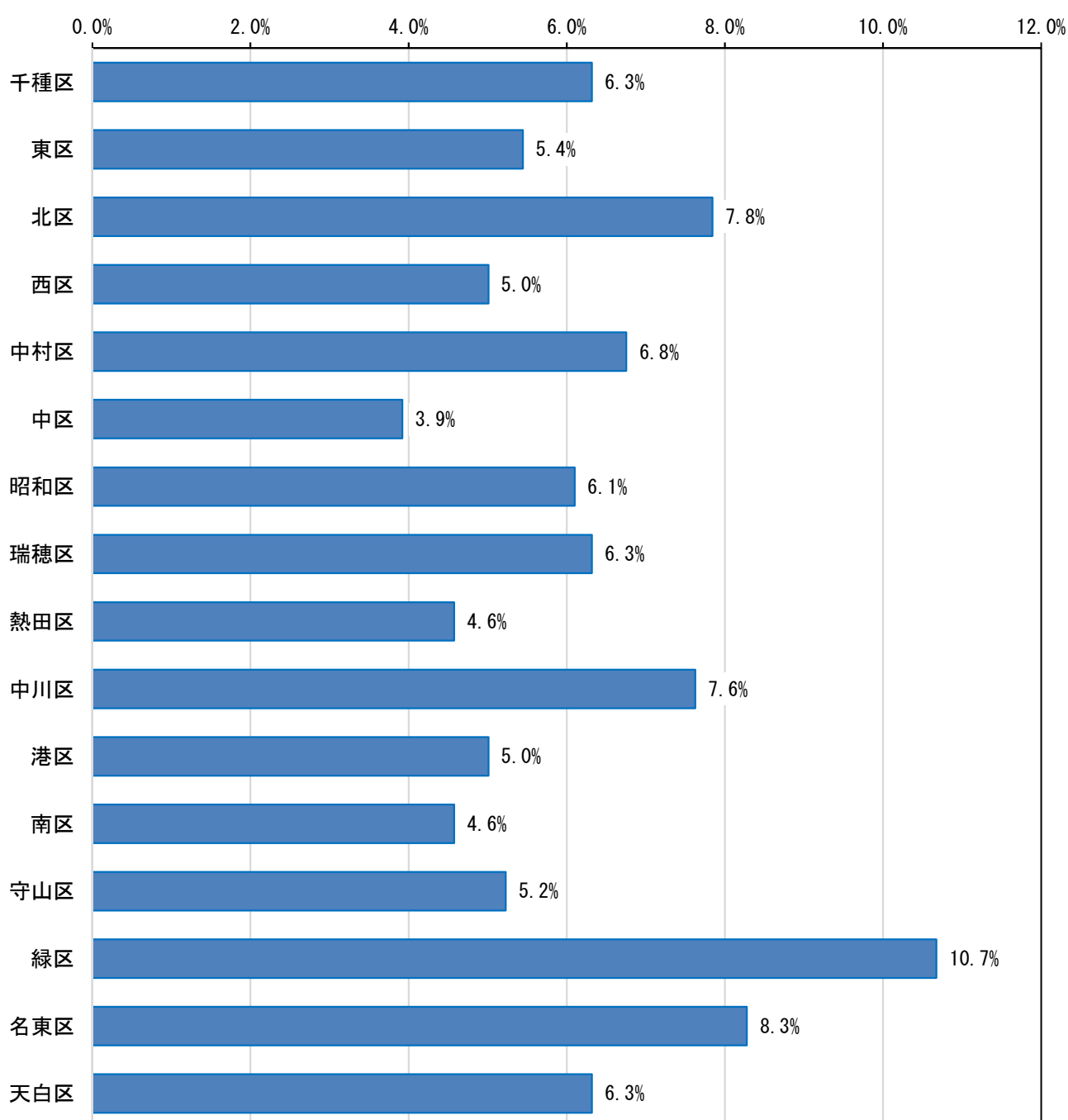
年 代

	全体	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
%	100.0%	0.4%	10.5%	15.7%	16.3%	19.4%	16.1%	21.6%
回答者数	459	2	48	72	75	89	74	99



居 住 区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.3%	5.4%	7.8%	5.0%	6.8%	3.9%
回答者数	459	29	25	36	23	31	18
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		6.1%	6.3%	4.6%	7.6%	5.0%	4.6%
		28	29	21	35	23	21
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		5.2%	10.7%	8.3%	6.3%		
		24	49	38	29		

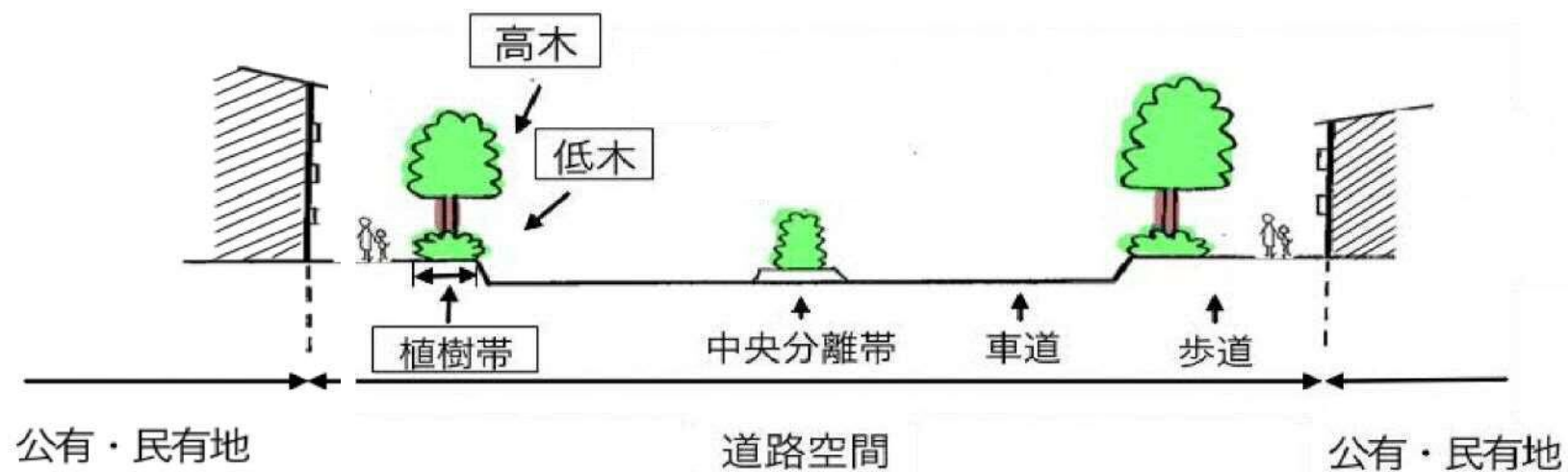


【参考資料】

添付 1：街路樹の構成

■ 街路樹の構成

高木	高さが3メートル以上に達する樹木
低木	高さが1メートル未満の樹木
植樹帯	高木、低木などを植えるために設けられる帯状の植栽



【参考資料】

添付 2：街路樹再生なごやプラン
(概要編)

街路樹再生なごやプラン（概要版）

～次世代へつなぐ持続可能な街路樹づくり～ 令和3年度から令和7年度まで

街路樹を取り巻く課題

- (1) 大木化・老木化の進行
- (2) 法令等に適合した道路空間の確保
- (3) 事故リスクの増大
- (4) 限られた予算による対応
- (5) 災害に強い街路樹づくりへの転換



老木化による倒木



著しい根上がり

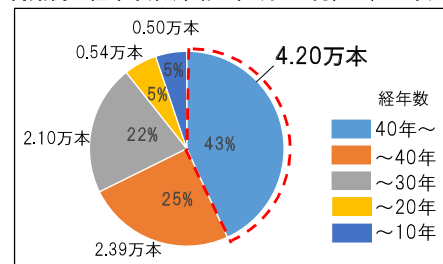


狭い歩道に植栽された街路樹

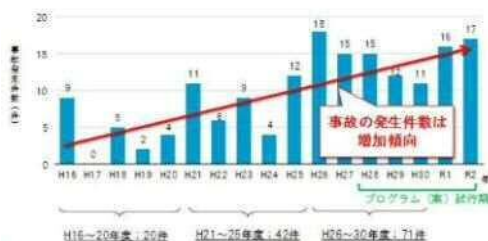


台風による被害

街路樹の経年本数(令和3年4月1日現在97,290本)



街路樹による事故発生件数の推移



街路樹再生の取り組み

街路樹再生指針 (H27年8月)

目標

街路樹再生により都市と市民が輝く名古屋を創造する

事故を未然に防止し、果たすべき機能や役割が発揮できる健全な街路樹として再生することを目的とする。

これまで

早期緑化
環境の保全・改善

量の拡大

これから

安全性の確保
都市魅力の向上
管理コストの縮減

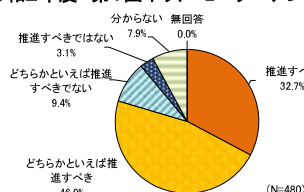
質の向上

街路樹再生プログラム（案）の試行 (H28～R2年度（5か年）)

試行した結果、判明した改善点など

- ・事故リスクの高い樹種を対象として設定
- ・大高木の樹高抑制の継続
- ・シンボル並木形成の継続
- ・寄附による街路樹更新の継続
- ・事業量及び事業費を明確化し、事業期間を設定
- ・市民意見の反映

令和2年度 第1回ネット・モニターアンケート結果



街路樹の植え替えや撤去を推進すべきだと思う人の割合は約8割

街路樹再生なごやプラン 計画期間：5年（令和3年度～7年度）

取り組みの方向性

- 果たすべき機能や役割を十分に発揮することのできる健全な街路樹
- 都市空間の価値を向上させ、市民等と共に育てる地域に愛される街路樹

維持管理の最適化

道路空間への適正配置

維持管理の質の向上

持続可能な維持管理

- 実行方針 1 道路空間と調和した街路樹づくり
実行方針 2 地域に愛される街路樹づくり

(1) 取組手法1 更新 5,500本/5年

- 道路空間と調和した街路樹への更新
- 市民や地域に親しまれている並木道の更新
- 市民や事業者からの寄附による街路樹の更新



【更新前】アオギリ



【更新後】ハナミズキ

(2) 取組手法2 撤去 3,800本/5年

- 狭幅員歩道の通行確保のための街路樹撤去
- 信号機や標識等の見通しを妨げる街路樹の撤去
- 街路樹診断等による不健全木の撤去
- 道路空間や街並みと調和のとれた街路樹とするための間伐



(3) 取組手法3 せん定 毎年23,800本

- 健全育成のためのせん定
- 災害時の安全性確保のためのせん定
- シンボルとなる並木を形成するため質の高いせん定
- 道路空間や街並みと調和のとれた樹形に再生するせん定（樹高抑制）



シンボル並木（桜通のイチヨウ）

街路樹再生なごやプランの効果

安全性の確保

- 更新・撤去・せん定による事故リスクの低減
- 誰もが安心して通行できる良好な歩道空間の確保
- 災害時の交通ネットワークの確保
- 健全な街路樹の育成

都市魅力の向上

- シンボル並木による都市魅力の向上
- 美しい道路景観の創出
- 地域との連携による街路樹の魅力アップ
- 魅力ある並木道の保全・育成
- 都市空間のブランディングによる資産価値の向上

管理コストの縮減

- 街路樹の更新・撤去による管理コストの縮減

【参考資料】

添付 3：街路樹更新・撤去イメージ写真

■ 街路樹更新・撤去イメージ写真



更新イメージ

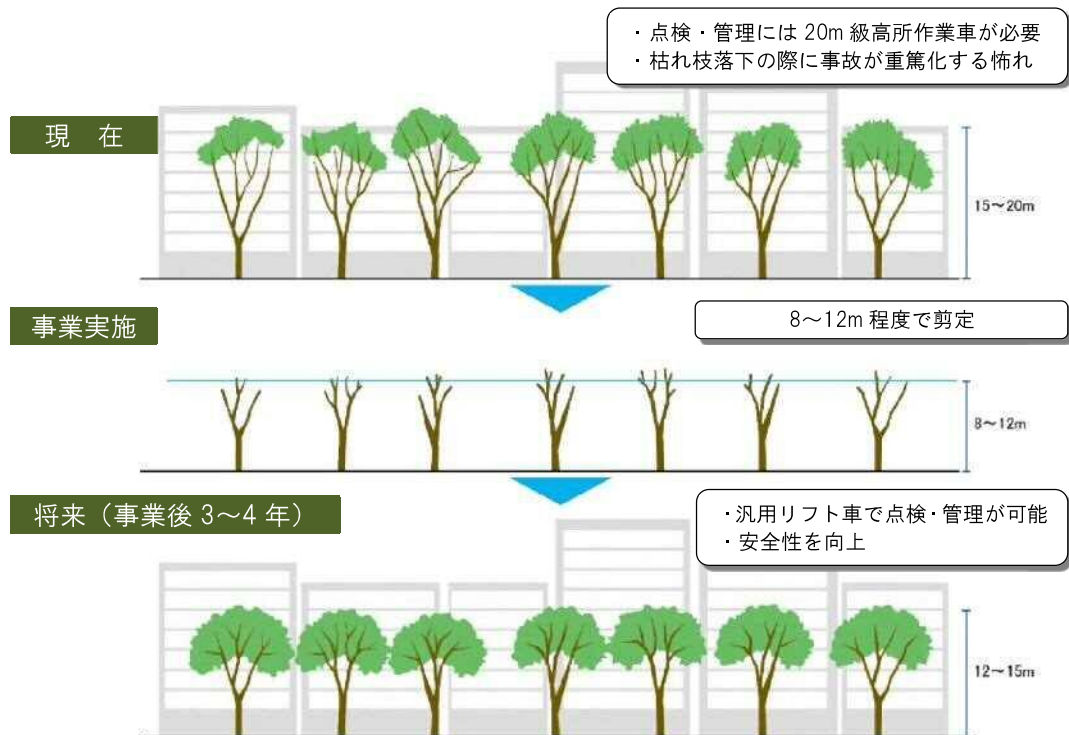


撤去イメージ

【参考資料】

添付 4：樹高抑制のイメージ

■ 樹高抑制のイメージ



標準的な汎用リフト車での点検や管理が可能な高さまで樹高を下げ、安全性を確保します。

【参考資料】

添付 5：名古屋市の顔となるシンボル
並木

■ 名古屋市の顔となるシンボル並木



広小路通のケヤキ



大津通のケヤキ



久屋大通のケヤキ（左）・クスノキ（右）



桜通のイチョウ